



MS341-28034/5/6/7 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDエスティマ用フロントスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-28034/6-A0	ホワイト [®] -ルクリスタルシャイン (070)	エスティマ '16.06~ マイナーチェンジ以降
MS341-28034/6-C0	ブラック (202)	
MS341-28034/6-C1	スパークリングブラック [®] -ルクリスタルシャイン (220)	
MS341-28035/7-NP	未塗装品 (プライマー-処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

以下、MS341-28034/5構成部品

品名	個数	備考
フロントスポイラー	1	
Jナット	8	(8個中4個LEDランプ用)
タッピングスクリュー	4	5×16
タッピングスクリュー	4	5×12 LEDランプ用
ゴムワッシャー	4	内径8mm、外形16mm、t=1mm
型紙	1	
取付・取扱要領書(本書)	1	本書
デイトムランニングランプセット	1	81430-GR500

以下、MS341-28036/7構成部品

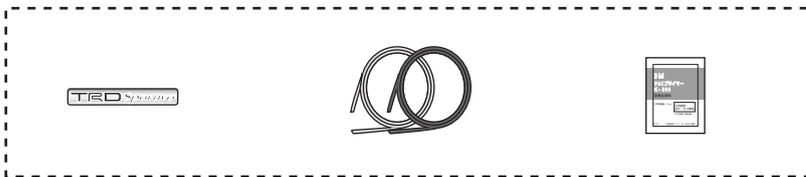
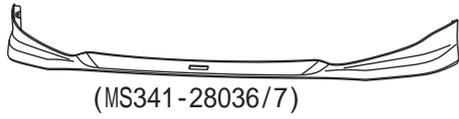
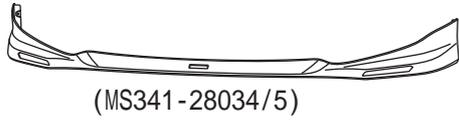
品名	個数	備考
フロントスポイラー	1	
Jナット	4	
タッピングスクリュー	4	5×16
ゴムワッシャー	1	内径8mm、外形16mm、t=1mm
型紙	1	
取付・取扱要領書(本書)	1	本書

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

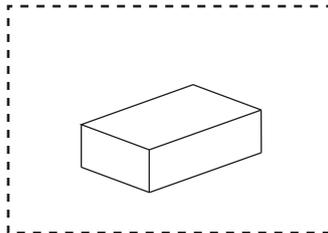
以下、MS341-28035/7-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	個数	備考
エンブレム	1	
モール	(各1)	黒/グレー L=1700mm
PACプライマー	1	K-500

■ 構成部品図



~ は未塗装品にのみ同梱



はMS341-28034/5にのみ同梱

お客様用取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みいただき、正しいお取扱いをお願い申し上げます。



警告 ここ記載されている事をお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながる恐れがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ずお守りいただきたいこと

- ⊘ 購入後の改造は重大な事故や故障を招く危険性がありますので絶対に行わないで下さい。
- ⊘ 本商品の近くに高温になるものや、裸火を近づけないでください。変形や火災などの原因になります。



注意 ここに記載されている事をお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながる恐れや、正しい性能を確保できない場合があります。

- ❗ 本商品は路面とのクリアランスが狭くなり、縁石などの段差やスロープ・悪路・不整地など路面との干渉が起こりやすくなります。また積雪時にラッセルしたまま走行したり、凍結(着氷)状態で使用した場合、破損する恐れがあります。あらかじめご了承ください。
- ❗ 本商品の装着によりガレージジャッキが指定の位置で使えなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- ❗ フラップ式(跳ね上げ式)のコインパーキングなどにお車を駐車する際は、駐車場のフラップ板が製品に干渉しないか十分に確認してください。部品が損傷する恐れがあります。
- ❗ クルマの乗り降りや保管場所などで、製品に無理なチカラや荷重が掛からないように注意してください。製品の剥がれや浮き・破損の原因になる場合があります。
- ❗ 本商品を装着後に衝突や強い衝撃を受けた場合、取付け部位や本体に変形・破損・故障が生じる場合がありますので、直ちに使用を中止して、トヨタの販売店か自動車整備工場にて点検を受けてください。

本商品は1年・20,000kmの保証を実施いたします。(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)保証の詳細はTRDパ-ツカタログ サイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

走行や取扱いにより発生した外的要因(*1)が原因の製品不具合や、それにより車両本体等への損傷が発生した場合のクレームには応じかねます。

- (*1) 飛石・塩害・酸性雨・鉄粉・鳥糞・煤煙・降灰・薬品等の飛沫・もらい錆・事故及び、台風・水害・高潮・地震・噴火等の天災による事故

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20以下低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

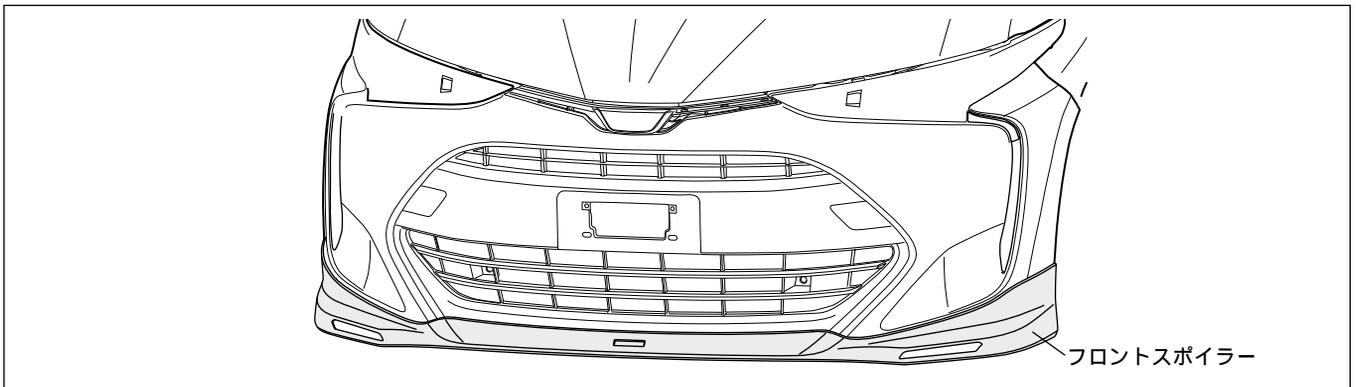
目次

1 . 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1 ~ 2
 2 . 取扱い上のご注意(お客様へ) 3
 3 . 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 4
 4 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 5
 5 . 取付け要領 5 ~ 10
 6 . 取付け後の確認・点検 11

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

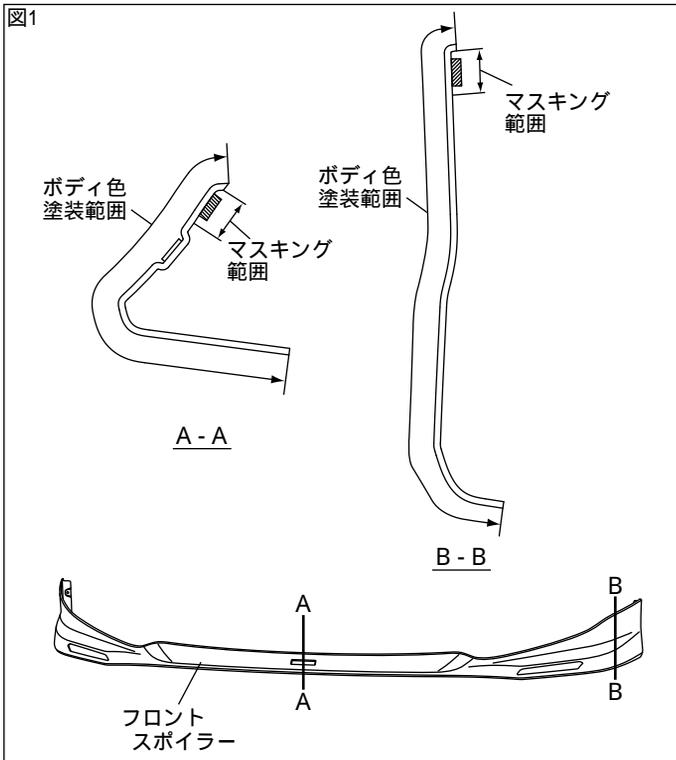
- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ等)
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(I P A)・清潔なウエス

取付構成図



未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS341-28035/7-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



フロントスポイラーの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図1のようにフロントスポイラー をボディ色で塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、I P A又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

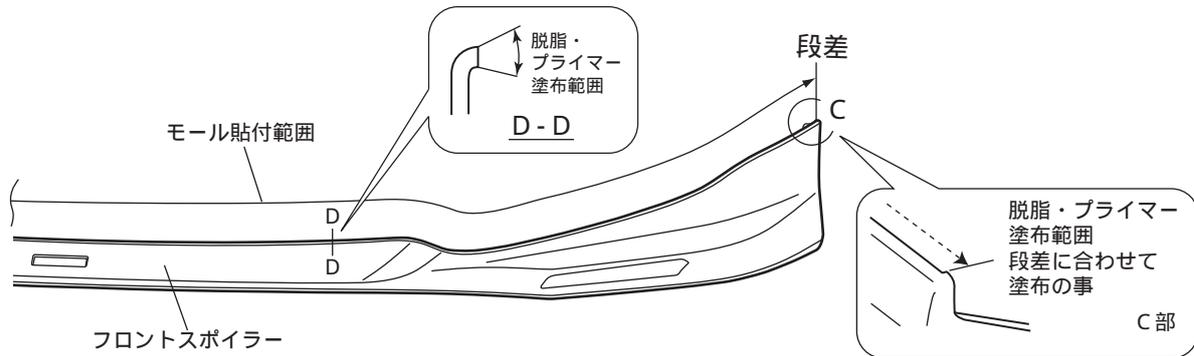
△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

モールの貼付け

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図2

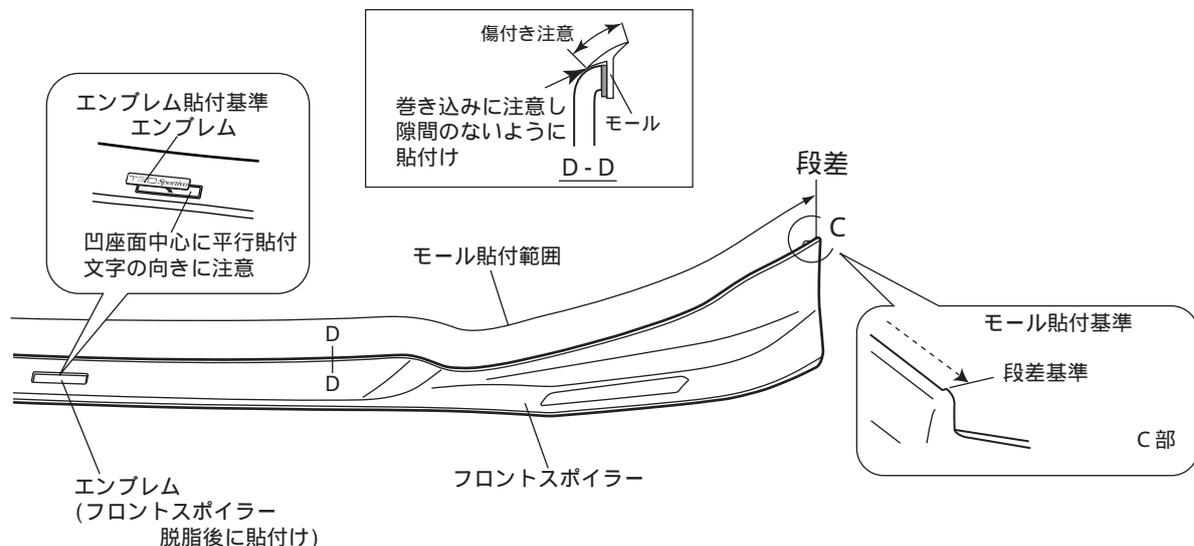


1. 図2のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図3



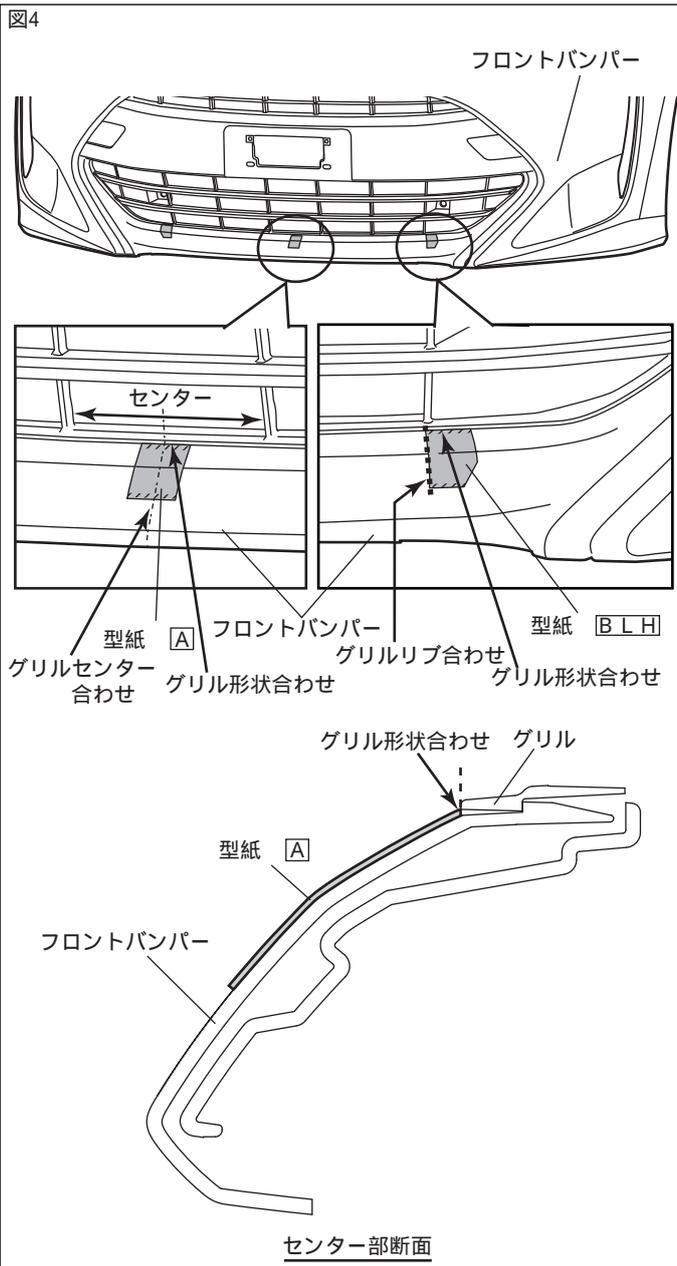
2. 図3のようにフロントスポイラーに、モールの離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。
{ 49N (5kgf) 以上 }

3. 図3のように脱脂した座面にエンブレムを貼付ける。

👉アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

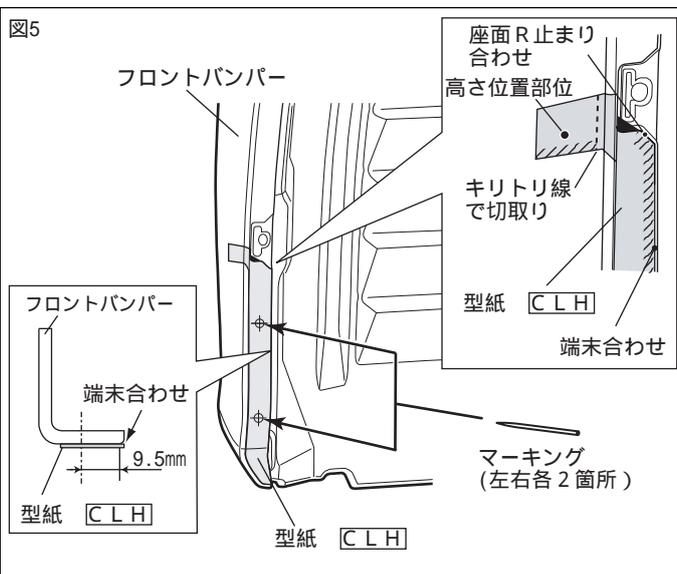
△注意：モールは、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。



取付準備

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

- 図4のように型紙 A、型紙 [B L H]、[B R H] を切り取り、フロントバンパーのロアグリル部の形状を基準に貼付ける。
(中央部1箇所)
(左右各1箇所)

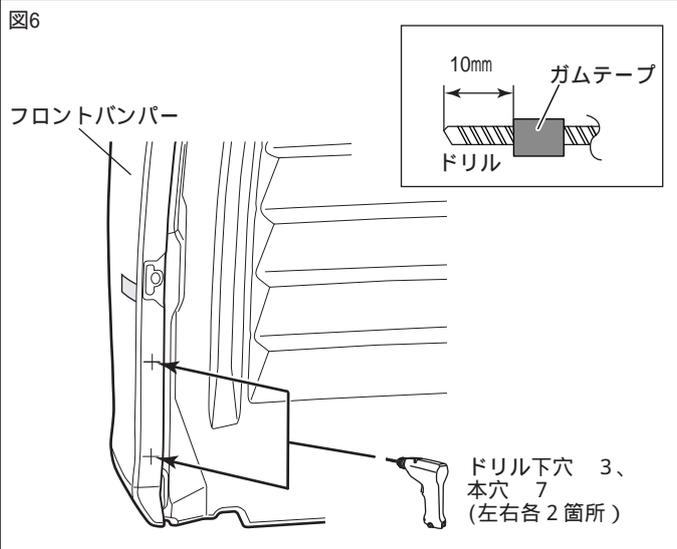


- 型紙 [C L H]、[C R H] を、図5のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼付けマーキングする。
(左右各2箇所)

- 図5の高さ位置の部位を残してキリトリ線で切取り、型紙を剥がす。(左右各1箇所)



アドバイス：フロントバンパー端末からの距離を測り、異なる場合は、マーキングをやり直してください。

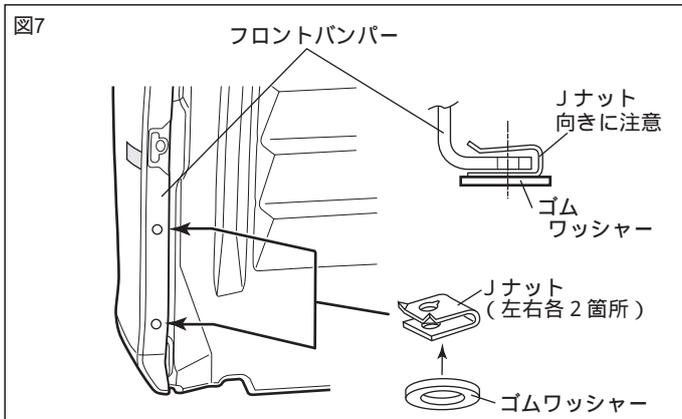


4. 図6のように 3、7のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。
(左右各2箇所)
5. 図6のように下穴に 7のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各2箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

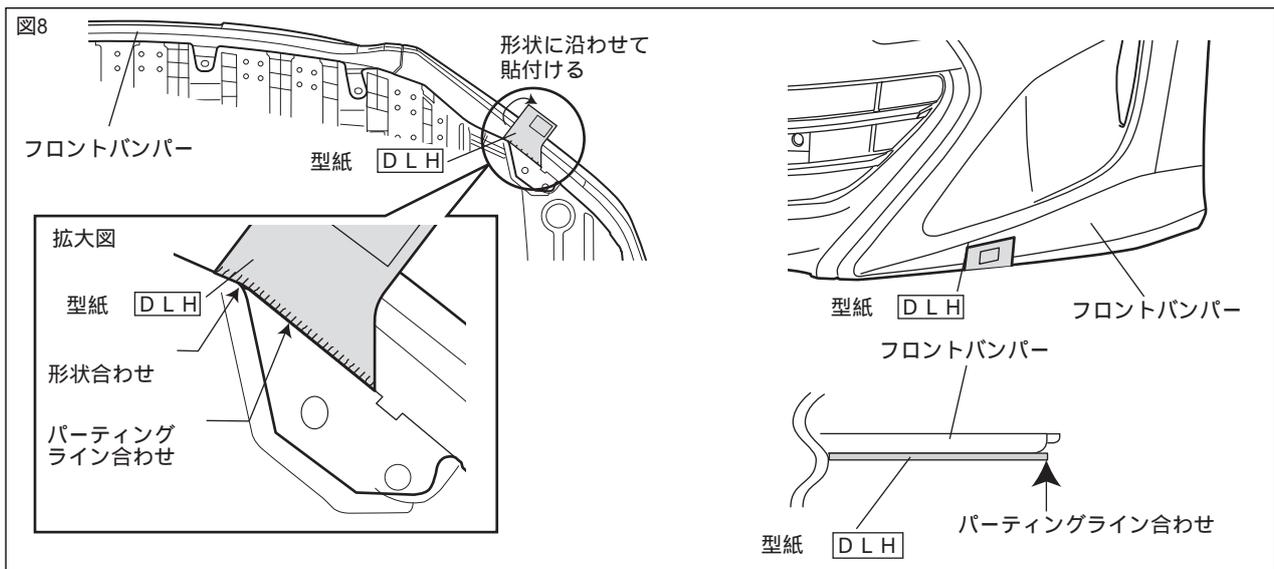


6. 図7のようにJナット にゴムワッシャーを貼付け、ホイールハウス部に差し込む。
(左右各2箇所)

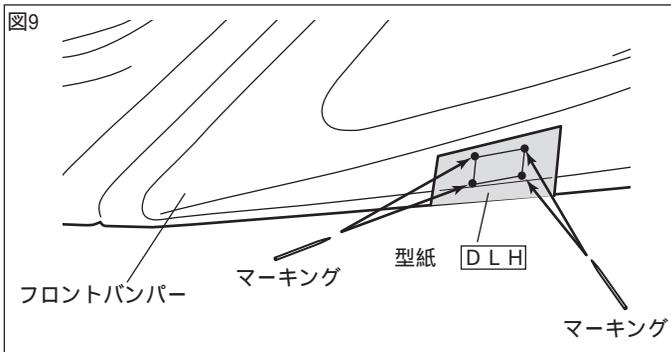
△注意：Jナット の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー が取付かなくなります。

アドバイス：Jナット が緩い場合は差し込み口を調整してから差し込んでください。

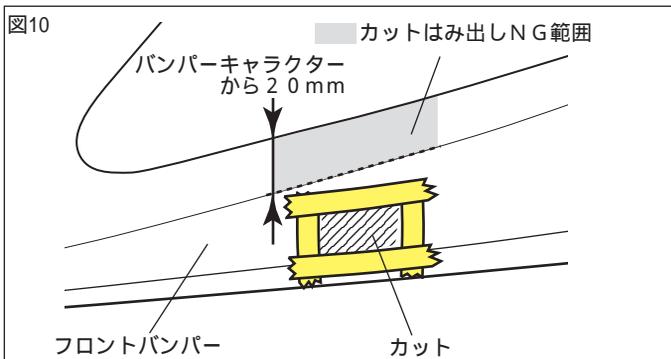
△注意：LEDデイトタイムランプ取付けの場合、作業7、8、9を行ってください。
LEDデイトタイムランプ取付けが無い場合場合、作業10へお進みください。



7. 図8のように型紙 DLH、DRHをフロントバンパーの下面形状に合わせ、フロントバンパーパーティングラインに沿わせながら貼付ける。
(左右各1箇所)



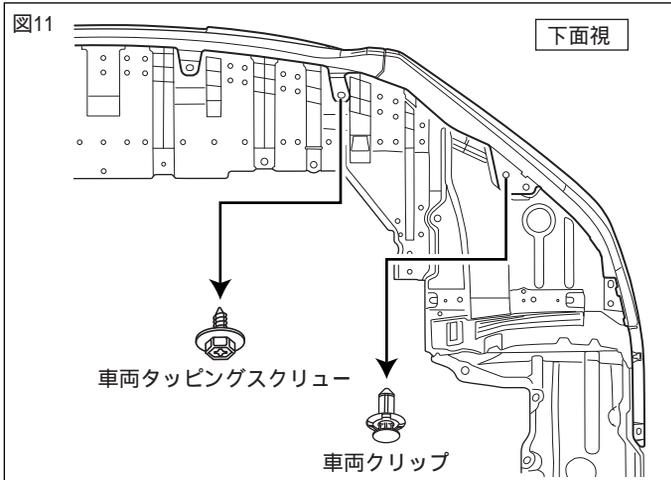
8. 図9を参考にフロントバンパーに貼付けた型紙 **DLH**、**DRH**のバンパーカット位置をマーキングする。 (左右各4箇所)



9. 図10のように4箇所のマーキング位置を繋ぎ、カットはみ出しNG範囲が無いことを確認し、斜線部をエアソー等で切取る。 (左右各1箇所)

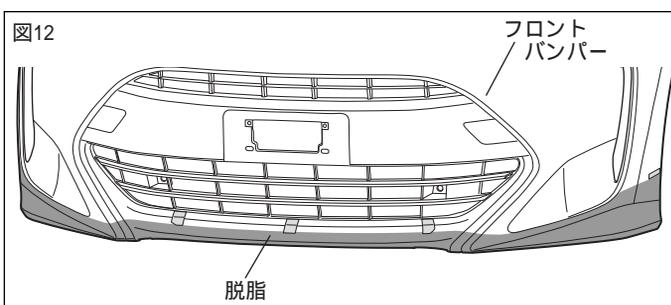
⚠注意：加工時、車両部品の取扱いに注意し、マーキング位置からズレのないようにしてください。

⚠注意：加工後、カット部のバリ、シャープエッジを取除いてください。



10. 図11のようにフロントバンパー下面を固定している車両タッピングスクリュー、車両クリップを取外す。 (左右各2箇所)

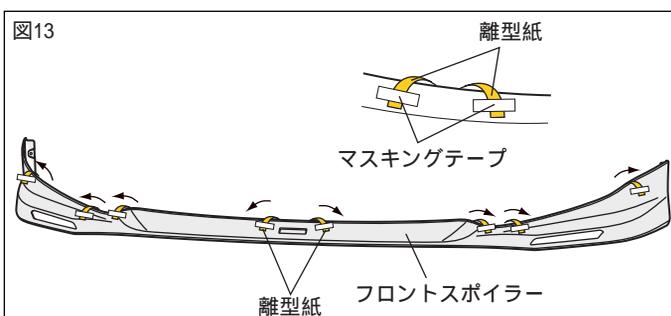
⚠注意：取外した車両タッピングスクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。



11. 図12のようにフロントバンパーのフロントスポイラー 取付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方に拭いて脱脂する。

👉アドバイス：脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

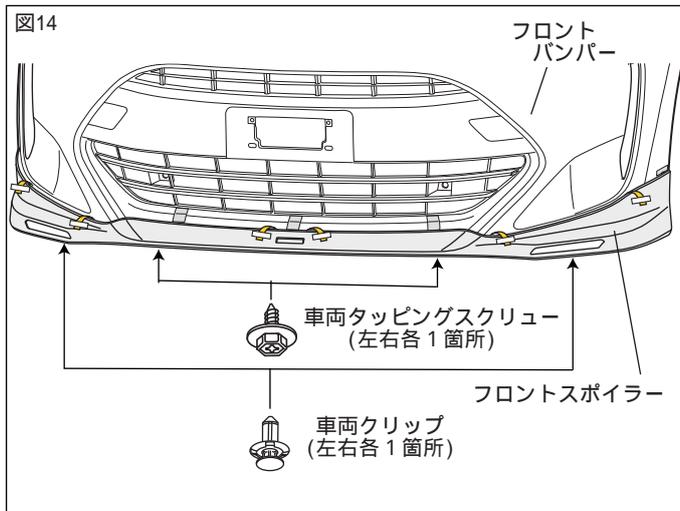
👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



12. 図13のようにフロントスポイラー の両面テープの離型紙を中央から外側に約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。 (左右各4箇所)

⚠注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

フロントスポイラー取り付け作業に進む前に、LEDデイトタイムランプ 取付要領に従いLEDデイトタイムランプの取付作業を行ってください。



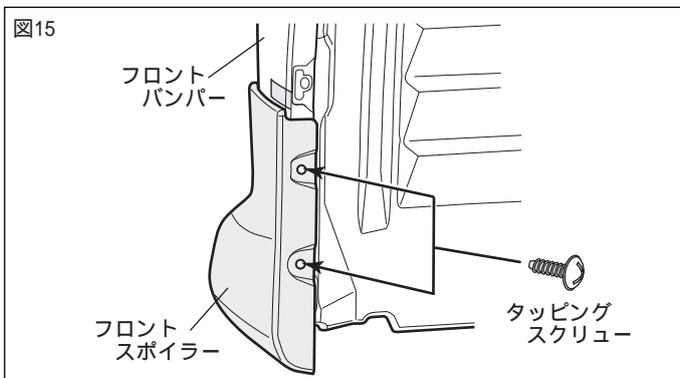
取付要領

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しており、RHも同様に行ってください。

1. 図14のようにフロントバンパーにフロントスポイラーを合わせ、下面を車両タッピングスクリューで仮締め、車両クリップで固定する。(左右各2箇所)

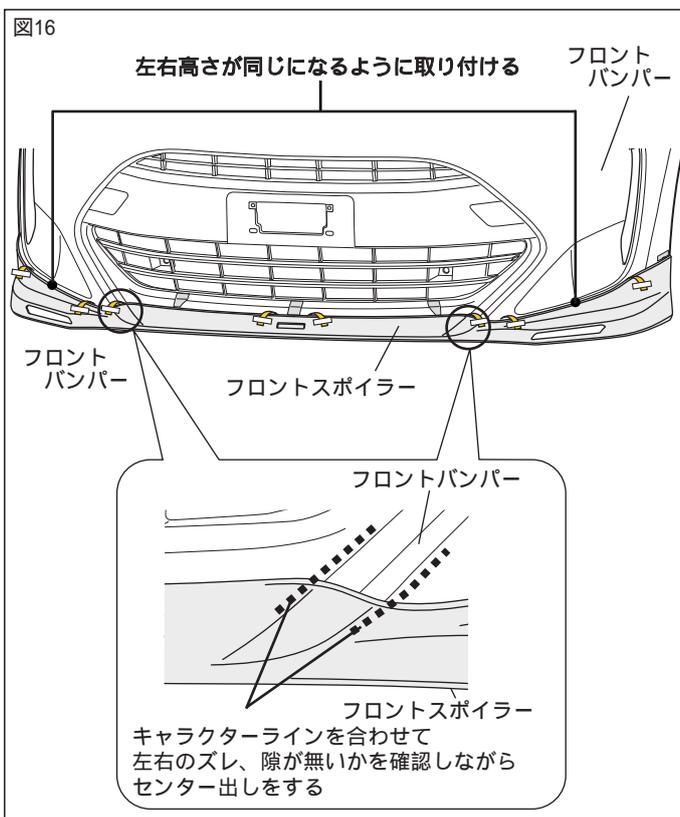
アドバイス: 本商品の取付けは、2名以上で作業を行ってください。又、ほこりのたたない屋内で行ってください。

注意: フロントスポイラーを取付ける際に、フロントバンパーに傷をつけないように作業してください。



2. 図15のようにフロントバンパーにフロントスポイラーを合わせ、ホイールハウス部をタッピングスクリューで仮締めする。(左右各2箇所)

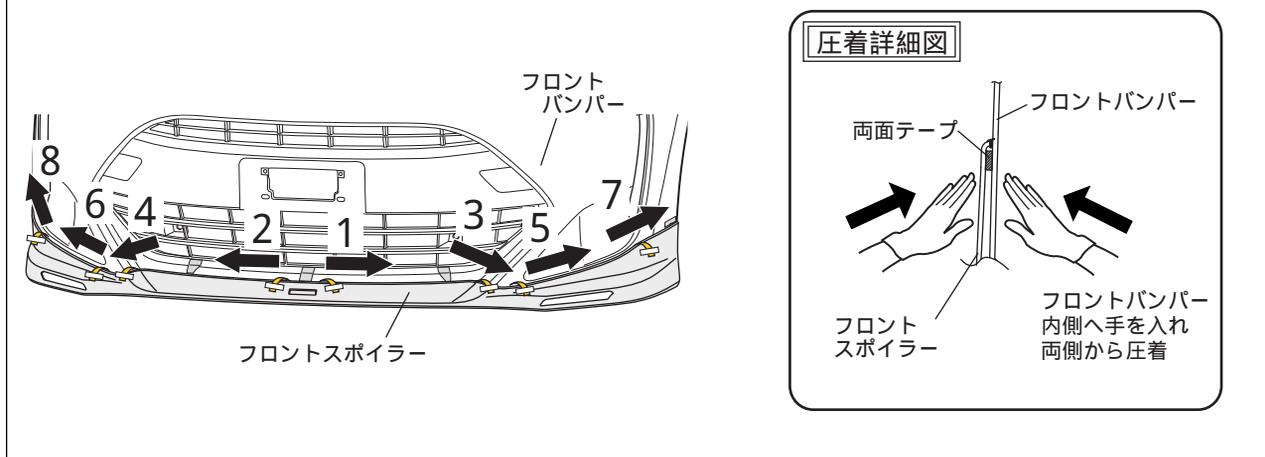
注意: タッピングスクリューの仮締めは製品が動かない程度に軽く締め込んでください。



3. 図16のようにフロントスポイラーの高さが同じになるようにする。

4. 図16のようにフロントスポイラーをキャラクターラインに合わせて左右のズレが無いか確認する。

図17



5. (3)・(4)記載の位置に・スキ・高さを保持して、図17のように番号順に離型紙を剥がしながら貼付け、確実に圧着する。
 { 49 N (5 k g f) 以上 }

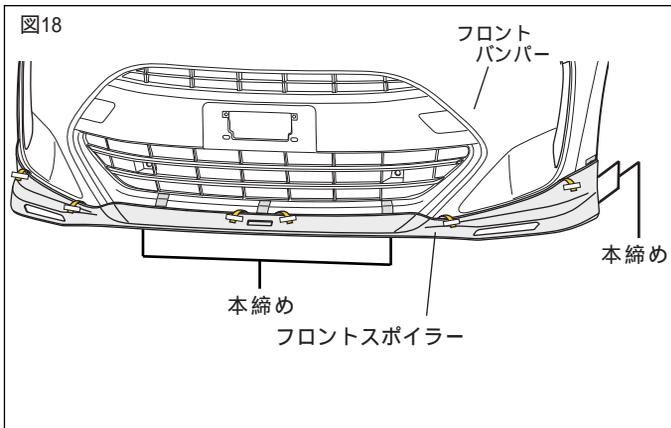
⚠ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。



⚠ 注意：LEDデイタイムランプ装着の場合は、下面部のスクリュー・クリップを一旦外してから配線のクランピング作業を行ってください。クランピング作業後に復元、本締めを行ってください。(LEDデイタイムランプ取付要領書参照)

6. 図17のように仮締めしておいた車両タッピングスクリューを本締めする。
 (左右各1箇所)

7. 図17のように仮締めしておいたホイールハウスのタッピングスクリューを本締めする。
 (左右各2箇所)

👉 アドバイス：オーバートルクでの締め付けは、タッピングスクリュー・ナットが破損する恐れがあります。

取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両の Fogランプ及びLEDデイランプの点灯点検を確認する。